

流行性角結膜炎(はやり目)に注意しましょう!

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	→ 0	0	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↗ 35	8	ヘルパンギーナ	↘ 61	62
咽頭結膜熱	↗ 14	9	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↘ 28	39
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↘ 31	49	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↘ 257	284	流行性角結膜炎(はやり目)	↗ 78	74
水痘	↘ 6	7	細菌性髄膜炎	→ 0	0
手足口病	↗ 172	151	無菌性髄膜炎	↗ 3	1
伝染性紅斑(りんご病)	↗ 37	33	マイコプラズマ肺炎	↗ 9	4
突発性発しん	↗ 35	31	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→ 0	0

報告が多い感染症
 感染性胃腸炎
 手足口病
 流行性角結膜炎

大きな流行が発生又は継続しつつある地域
 手足口病 : 菊池、人吉、天草、熊本市、山鹿
 伝染性紅斑 : 人吉、八代
 ヘルパンギーナ : 天草
 流行性角結膜炎 : 熊本市

保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)
熊本市保健所		4	3	10	56	1	61	6	13		12	5		66		3	9		
山鹿保健所					8		4				1	1	*	*					
菊池保健所		7	5	11	52	1	38	6	5		13	3		6					
阿蘇保健所					2		1					1	*	*					
御船保健所		1			14		3				5		*	*					
八代保健所		1	1		37		4	6	4		2			1					
水俣保健所					11		2		1		1		*	*					
人吉保健所				2	11	1	19	6	2		2	3	*	*					
有明保健所		3	1	2	38	2	15	4	5		4	14		2					
宇城保健所		15	3	1	21		6	5	3		5	1	*	*					
天草保健所		4	1	5	7	1	19	4	2		16			3					
計	0	35	14	31	257	6	172	37	35	0	61	28	0	78	0	3	9	0	0

年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	35	8	11	13	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0							
咽頭結膜熱	14	0	1	8	0	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	31	0	0	1	2	2	6	5	1	2	3	0	6	0	3							
感染性胃腸炎	257	4	31	46	19	34	25	23	8	16	10	11	15	5	10							
水痘	6	0	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0							
手足口病	172	1	24	90	25	12	12	2	4	0	1	0	1	0	0							
伝染性紅斑	37	0	1	0	3	4	8	6	3	7	1	2	1	0	1							
突発性発しん	35	1	18	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
ヘルパンギーナ	61	1	10	17	10	9	7	1	3	1	1	1	0	0	0							
流行性耳下腺炎	28	0	0	1	4	7	5	2	3	2	2	0	1	0	1							
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	78	0	1	3	5	7	4	8	0	1	1	1	5	2	8	13	6	5	5	3	3	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
無菌性髄膜炎	3	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
マイコプラズマ肺炎	9	0	4	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					

流行性角結膜炎(はやり目)に注意してください

今週の報告数は78件で、7/6~7/12の週以降増加しています。保健所別では、熊本市が警報レベルを超えています。年齢別では、3~9歳が全体の16.7%、0~5歳は35.9%を占めています。全国との比較では、先週の県内の一定点当たりの患者報告数は全国より7倍多い報告数でした。

流行性角結膜炎は、夏を中心に発生が多く、年齢では1~5歳を中心とする小児に多いが、成人も含み、幅広い年齢層にみられます。白目の部分が赤くなる、涙が多く出る、目やにが出る、まぶたが腫れる、などの症状が出ます。

両目に症状が出る場合が多いのですが、片方だけのこともあります。ある特定の型のアデノウイルスに感染することが原因で、ウイルスのついた手で目を触ることで感染(接触感染)することが多いので、予防には手洗いが有効とされています。

感染力が強く、感染した人の使用したティッシュペーパー、タオル、洗面器等からウイルスが広がると考えられています。

赤ちゃんや小さなお子さまなどでは、重症化することがあります。症状の見られる場合には、早めに医療機関を受診しましょう。

